

永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
 令和8年2月発行・第225号
 認定こども園西九州大学附属 三光保育園
 TEL:0952-31-6877

1月のサロンはお店屋さんごっこ・写真アート・手形アートを行いました。思い出に残る経験や記念になるものを作って親子で楽しみました(o^ー^o)♡



♡ こどもの成長 ♡

1月後半から、来年度の入所が決定したご家庭が手続きにいられています。その中には、H13改築後の新園舎を卒園した保護者の方もおられ、時の過ぎゆく早さに驚かされています。特に現園舎で行ってきた園行事やイベントは昨日の事のように記憶にあり、その時の楽しい、面白い、困ったエピソード等も一緒に思い出されています。

さて、1月27日は佐賀市文化会館の事業でマリンバ・デュオコンサートが本園遊戯室で開催されました。演奏者2人の紹介の中で、1人は卒園児さんだということ、幼稚園の時にこのステージに上がって演奏したり、お遊戯を踊っていたことを伝えると、参加した園児全員が驚きから笑顔になり、楽器の音色に聴き入りました。一緒に観賞した職員も、大人しかった女兒が多才なエンターテイナーに成長し、感動していました。この1時間程のコンサートには、1歳児～5歳児の幼保の園児300人が集いましたが、どの子どもも楽器の音色や園児が演奏に合わせて歌う曲を全身で楽しんでいました。音楽の持つ力に改めて気づかされた次第です。これからもこのような体験の場を増やしていきたいと思います。ぽぽらでも体験できるといいですね。

「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。

2月24日(火)…アロマ

3月3日(火)…ひなまつり会



♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

(受付時間:平日の9:30～17:00まで)

さんこう・ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】 〇9:00～12:30、13:30～16:00
 ※12:30～13:30 昼休み・準備の為閉園

【お知らせ】

※園行事の為、ご利用できない場合があります。
 ※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。
 ※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

2月・3月の「子育て支援事業」のお知らせ

① 実施日

- ・2月4日(水)…東与賀よかよかサークル
 ※東与賀保健センターで行います。
- ・2月10日(火)18日(水)…フリーディ
- ・2月12日(木)…高木瀬あいあいサークル
 ※高木瀬公民館にて行います。
- ・2月17日(火)…赤ちゃんの日(ベビードダンス)
 予約先着10組
- ・3月6日(金)・11日(水)・13日(金)
 …フリーディ
- ・3月9日(月)…育児講座「おしゃべり会」
 予約先着10組
- ・3月12日(木)…高木瀬あいあいサークル
 ※高木瀬公民館で行います。

②時間:10時～12時

③開催場所:子育て支援センター・運動場

※さんこう・ぽぽらHPにて事前の申し込みが必要です。

2月分申し込み 2/1(日)10時

3月分申し込み 3/1(日)10時

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮ください。
 ※フリーディは予約は必要ありません。ご都合が付く日にご来園ください。
 ※感染症対策にご協力ください。
 ※詳しくは「さんこうぽぽら」HPをご覧ください。

子どもと一緒に感染症対策

西九州大学看護学部看護学科 川島睦子

感染症といえば、記憶に新しいのは新型コロナウイルス感染症かと思います。この新しい感染症が猛威を振るった 2020 年から 2021 年度は、季節性インフルエンザの発症が減少し、定点調査において、流行開始の指標である 1.00 人/週を超えた週はなかった（つまり流行するほどの感染者はいなかった）と報告されています。いろいろ検討されましたが、マスク着用と手洗いの徹底が一つの要因ではないかと考えられています。新型コロナウイルス感染症への対策が他の感染症にも副次的な効果をもたらしたといえるでしょう。

ここで「感染成立の 3 要素」について少し述べさせていただきます。菌やウイルスなどの「病原体」が見つかったというだけでは感染とはいえません。「宿主」（ヒトなど）があり、「病原体」が「感染経路」を経て定着・侵入することから感染は始まります。「病原体」「感染経路」「宿主」により感染が成立します。言い換えれば、3 要素のどこかを強化したり、弱めたり、遮断することで感染を成立させないことができるのです。

「感染経路」を遮断する最も有効な方法として手洗いがあります。子どもに限らず大人でも、無意識のうちに口元や目元に触れてしまうのは、接触感染の原因になります。そこで、病原体に触れたかもしれない外出後、ご飯を食べる前、トイレの後などの手洗いをお勧めします。とはいえ、外出先から帰っての手洗いを習慣化させるだけで手一杯、という保護者の方には、手洗いできたらハイタッチ（こちら手洗い済みで）をする、カレンダーに◎やシールを付けるなど子どもに遊び感覚で実施できることが続けられるコツかもしれません。保育園に出向いて「手洗いダンス」の映像を見ながら実施した時は、楽しそうにできていました。マスクも感染経路の遮断には効果的ですが、表情が見えないなどのデメリットもあるため、咳やくしゃみをしているとき、または感染している人が近くにいるときだけ使用してはいかがでしょう。自宅に感染した人がいるときは隔離が理想的ですが、子どもの場合は難しいため、家の中でのゾーニングを行います。帰宅して直ぐに手洗いや着替えができるコーナーを作り、一方向から清潔な空間に入る（病原菌を持ち込まない）工夫と、隔離するときは、部屋の前にコーナーを作り、擦式アルコールによる手指衛生、マスクの着脱ができるように準備する、きょうだいの出入りはできるだけ我慢するが、寂しくないように大人（保護者の方）が感染対策をして接すること、接する人を決めることも必要な場合があります。子どもと楽しみながら一緒にできる感染症対策を、ぜひご検討ください。なお、抵抗力強化（免疫獲得）のワクチン接種も効果大です。

【参考文献】 [新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応 | 厚生労働省](#)